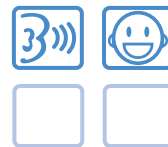


9 - 3

目・鼻・口



活動

からだ ぶぶん なまえ
ゲームで体の部分の名前を
おぼえる。

かたち



時間

● ○ ○

せつめい編

談話の技術

準備するもの

使うことば

あし あたま かお くち て はな みみ
足、頭、おなか、(顔)、口、(手)、鼻、耳、
め は かみ
目、(歯)、髪*

手

順

(1) 目目目目、耳！

1. 教師は「足、頭、おなか、顔、口、手、鼻、耳、目、歯、髪」の中から1つを言う。
2. 学習者は自分の体の中で教師が言った部分を指す。
3. 1と2を学習者が慣れるまでくりかえす。
4. 教師は「目目目目」と言いながら目を指し、大きな声で「耳」と言いながら、口を指す。
5. 学習者は教師と同じ動作をしないで、聞いた部分を指す。

(2) 顔をかきましょう

1. 教師は大きい丸を黒板に書く。
2. 1人の学習者が前に出て、目かくしをする。
3. ほかの学習者は「口、鼻、耳、目、歯、髪」を1つずつ言い、目かくしをした学習者は言われたものをかきこむ。

バリエーション

(1) 日本に ほんの伝統でんとう的な遊びあそび「福笑い」ふくわらの方法ほうほう
つか
 を使う。

<バリエーションの手順>
てじゆん

1. 目め、鼻はな、口くちなどのない顔かおの絵えと、顔かおの
なか 部分ぶぶん (目め、鼻はな、口くち、まゆ) の絵えを
よう 用意いする。

2. 目めかくしをした学習者がくしゅうしゃが鼻はなや口くちなどの
かお 顔ぶの部分ぶんの絵えを持ち、それを顔かおの紙かみの
うえ 上がくしゅうしゃにのせる。ほかの学習者がくしゅうしゃは「もっと、
みぎ 右ひだり / 左うへ / 上した / 下い」などと言って、正ただし
い 位置ちを指示しして助たすける。

先生へ

・ <バリエーション> で紹介しょうかいした「福笑い」ふくわらの方法ほうほうは、顔かおの部分ぶの絵ぶんを準備えするとき、「目め、鼻はな、
くち 口みみ、耳れんしゅう」の練習じっさいになるが、実際のゲームでは、「右みぎ / 左ひだり / 上うへ / 下した」の練習れんしゅうが中心ちゅうしんになる。